理工学図書館後期LS講習会

# きれいなグラフを作ろう! gnuplot入門





gnuplotによるグラフ作成

### gnuplot

- コマンド入力形式のグラフ作成ツール
- 豊富な出力形式を装備



<u>本講習の目的</u> gnuplotの魅力を体験してみよう!



## 本日の学習事項

- 1. gnuplotの基本的な使い方
- → gnuplotに慣れよう
- 2. スクリプトファイルを用いた使用法 →再利用に欠かせないため学んでおこう
- 3. グラフのカスタマイズ
- →軸ラベル、フォントの設定など
- 4. 例題&実践
- →さらに実践的に利用してみよう

## 1. gnuplotの基本な使い方



gnuplotの起動と終了

#### 図 gnuplotの起動画面

🔤 gnuplot								_ <b>D</b> _ X
File Plot Expressio	ns Functions	General	Axes	Chart	Styles	3D	Help	
🗠 🖻 🖥 🖉 🎒	i 🗿 🗿 🗗	<b>•</b>						
G N U P L O T Version 5.2 patchlevel 4 last modified 2018-06-01								
Copyright (C) 1986-1993, 1998, 2004, 2007-2018 Thomas Williams, Colin Kelley and many others								
gnuplot home: faq, bugs, etc immediate help	http://www : type ~help : type ~help	v.gnuplot.ir ⊳ FAQ″ ⊳″ (plot w	nfo indow: h	nit 'h')				
Terminal type is now ' snuplot> _	wxt'							
encoding: cp1252								đ

gnuplotを起動すると左図のような ターミナルが表示される

#### ターミナルにコマンドを 入力することでグラフの描写が可能

簡単なグラフの描写



<u>図 y = x のグラフ</u>





複数のグラフの描写

gnuplot > plot x, sin(x)  $\checkmark$ 



3次元グラフの描写





gnuplot > set pm3d map gnuplot > splot  $x^{**}2+y^{**}2$ 



(初期設定のままでは あまりきれいな色ではないが…)



gnuplot > splot  $x^{**2}+y^{**2}$ 

図  $z = x^2 + y^2$ の3次元グラフ



### 2. スクリプトを用いた使用法

gnuplot用ディレクトリファイルの作成

スクリプトファイルによる使用をする前に...

gnuplotでの作業を行うための ディレクトリファイルをデスクトップに作成しておく

> 「gnuplot」という名前の ディレクトリファイルを デスクトップに作成

#### ディレクトリファイルの作成 义 ∦∎ 3 Word 2016 図書館ツア・ ¥≣ 2 9 **₽** 🗎 IF viutl100 (図書創 E gnuplot-5.2.5 Æ 2 est1.da M パソコンで見るマ 別取り音声 test1.pnq anuplot \* PDF JP 맂



スクリプトファイルの作成

gnuplotにおけるスクリプトファイル

- コマンドを用いたテキストファイルでテキストエディタなどによって作成可能
- 拡張子は.pltや.gpなどで保存する

簡単に言うとコマンドの集まりであり、設定をカスタマイズし、保存することで 何回も使用することができる

#### <u>例 test.plt</u>

plot x, sin(x)

先ほどターミナルに入力していた 内容を記述

> 「gnuplot」ディレクトリに 「test.plt」ファイルを保存



1()



スクリプトファイルの使用

#### test.pltファイルをgnuplotから開いてみよう



#### 図 x とsin(x) のグラフ



テキストエディタで表示される場合は 右クリック/プログラムから開く/gnuplot を指定することでgnuplotから開くことが可能 もしすぐに画面が閉じてしまう場合は gnuplot > pause -1 をスクリプトに加えてみよう



データプロットの表示

<u>データファイルにあるデータをプロットしてみよう</u> 1. 左下のようなデータファイルdata.datを作成する

2. 右下のようなスクリプトファイルdata.pltを作成する

#### 図 data.datファイル

😑 data.dat	X	
1	# da	ıta.dat
2	#x	У
3	1	2
4	2	4
5	3	б
6	4	8
7	5	10

#### 図 data.plt

plot "data.dat"

#### 図 data.pltの実行結果





軸の範囲・目盛りの変更

0

-0.5

-10 -9 -8 -7 -6 -5





14



-3 -2 -1 0

-4

1 2 3 4 5

10

Q

6 7

<u>軸の範囲の指定</u>x軸の範囲 gnuplot > plot [-2\*pi:2\*pi] sin(x) J







タイトルと軸ラベル

gnuplot > set title "example"gnuplot > set xlabel "Input"gnuplot > set xlabel "Output"gnuplot > plot sin(x) title "key1"

グラフのタイトルを「example」とする x軸ラベルを「Input」とする y軸ラベルを「Output」とする sin(x)のグラフタイトルを「key1」とする 15

#### 図 タイトルと軸ラベルの表示



データファイルからデータを選択する

#### 図 data2.datファイル



#### 1行目と3行目のプロットできた

#### 🗵 data2.plt

plot "data2.dat" using 1:3

16

#### 図 data2.pltの実行結果





グラフのスタイル

#### 表 グラフのスタイル

スタイル	説明
lines	ライン表示
points	データポイント表示
linespoints	ラインとデータポイント表示
dots	ドット表示
steps	ステップ表示
boxes	棒グラフ
vector	ベクトル表示

gnuplot > plot x with lines スタイルを入力





## フォントの調節

#### 図 font.plt

set tics font "Times New Roman, 12" set xlabel font "Times New Roman, 12" set ylabel font "Times New Roman, 12" set key font "Times New Roman, 12"

set xlabel "Input"
set xlabel "Output"
plot sin(x) title "key1"

目盛りのフォント変更 xlabelのフォント変更 ylabelのフォント変更 凡例のフォント変更

#### 図 font.pltの実行結果





setコマンドについて

#### set コマンドはグラフの環境をカスタマイズするとき用いる

gnuplot > set *option* 

#### オプションと一緒に記述し、環境をカスタム

gnuplot > show *option* 

#### optionの環境を確認

gnuplot > show all

#### 全ての環境を確認

#### 図 show allによる環境の表示

### 4. 例題&実践

例題1~カラーマップの描写~

#### スクリプトファイルは 別資料参照





例題2~ヒストグラムの作成~

#### スクリプトファイルは 別資料参照





例題3~球の表示~

#### スクリプトファイルは 別資料参照





実践編~斜方投射~

物理シミュレーションの例題として 2次元斜方投射を考えてみよう。 得られたデータをgnuplotでグラフ化してみよう。



- ◆ <u>速度データ: vel.dat</u>
   時刻、水平方向速度、鉛直方向速度
- ◆ <u>エネルギーデータ: energy.dat</u> 時刻、ポテンシャルエネルギー、運動エネルギー、全エネルギー



図 斜方投射のモデル図















質点の軌跡, 鉛直方向変位と速度の関係, エネルギー保存

K.E.

P.E.















21

- ◆研究や実験のデータ整理ではパラメータを変えた場合の物理量の変化 を見ることがあり、繰り返し同じデータ処理をすることが多々ある。
- ◆ そのようなときには、再利用が可能なgnuplotやexcel vbaなどのようなコ マンドによるグラフの描写が便利。
- ◆ gnuplotは多くの利用者がいるため、操作方法など分からないことはHP で掲載されている場合があるため、調べながら学ぼう!

※本講習会の内容は講演者自身が独学で学んだものであり、より効率的にプロットする方法などがあるかもしれませんので、各自でさらに学習を深めてください。